

科目名	地域看護学特論 I Community Nursing I	科目区分	専門	単位数	2単位
教員名	坂本真理子, 若杉里実	必修・選択	選択	開講年次	第1学年
				開講学期	前学期
科目概要	地域看護学を探究するうえで基盤となる理論的な根拠を学ぶ。具体的には地域看護学の定義, 地域看護学の基盤となる主要な概念と理論について学修し, その応用について探求する。また, 地域看護実践で用いる援助方法について学修する。				
目標	1 地域看護学の定義, 地域看護学が基盤とする主な概念について論じることができる。 2 地域看護学の基盤となる理論—個人・家族・特定集団・地域に対する理論について説明できる。 3 個人・家族・特定集団・地域に対する理論の応用と援助方法について説明できる。				
内容	1	オリエンテーション	オリエンテーション	坂本真理子	
	2	プライマリヘルスケアの理解	Health For All, アルマアタ宣言, プライマリヘルスケア	坂本真理子	
	3	ヘルスプロモーションの理解	オタワ憲章, ヘルスプロモーション	坂本真理子	
	4	地域看護学の基盤となる理論①	個人に対する理論	若杉里実	
	5		家族に対する理論	若杉里実	
	6	個人・家族に対する地域看護活動	個人に対する理論の応用, 援助技術	若杉里実	
	7		家族に対する理論の応用, 援助技術	若杉里実	
	8	地域看護学の基盤となる理論②	特定集団に対する理論	坂本真理子	
	9		特定集団に対する理論	坂本真理子	
	10	特定集団に対する地域看護活動	特定集団に対する理論の応用	坂本真理子	
	11		特定集団に対する理論を応用した援助技術	坂本真理子	
	12	地域看護学の基盤となる理論③	地域に対する理論・モデル	坂本真理子 若杉里実	
	13		地域に対する理論・モデルの応用	坂本真理子 若杉里実	
	14	地域に対する地域看護活動	地域に対する理論・モデルを応用した援助技術	坂本真理子 若杉里実	
	15	まとめ	地域看護学の展望	坂本真理子 若杉里実	
学修方法	1 授業中に提示する。参考図書や授業内容に関する文献を十分に読み込んで授業に臨むこと。 2 授業では学生のプレゼンテーションを取り入れ, ディスカッションを通してテーマに関する学びを深める。 3 授業内容への質問, プレゼンテーション及びレポートの内容についてフィードバックを行い, 学修効果を高めていく。 4 1コマあたり, 90分以上の事前・事後学修が必要となる。				
評価方法	授業でのプレゼンテーション(30%), 課題レポート(40%), ゼミへの積極的な参加(30%)によって行う。				
教科書・参考書	テキスト: 特に指定しない。 参考書: 授業中に適宜提示する。				
履修上の注意点	大学院生主体で授業を進めることができるように, 毎回, 学修課題を明らかにして参加すること。				
オフィスアワー	坂本真理子: 水曜日 16:10~17:40 C棟5階 教授室1 若杉里実: 月曜日 16:10~17:40 C棟5階 教授室4				